

勝山市地震対策業務継続計画 (概要版)

第1章 概要

■業務継続計画の意義と目的

業務継続計画とは、利用できる資源に制約がある状況下においても適切に業務を執行するため、優先すべき業務を特定し、必要な資源の準備や対応方針を定める計画である。

■地域防災計画と業務継続計画

地域防災計画は、市及び防災関係機関による災害対策の総合的な計画であり、これに対して業務継続計画は、災害時における業務遂行の実効性を確保するための計画である。

第2章 被害想定

■想定地震・想定条件

「福井県地震被害予測調査業務報告書」
(福井県作成)
福井平野東縁断層帯主部 M7.6 冬朝5時
市の全域で震度5弱～6強の揺れ

■想定される被害

市域被害想定から庁舎被害状況を想定する。

市域の被害想定
死者 14人、負傷 127人 全壊 213棟、半壊 880棟 電気停電率 2% 上水道断水率 28.9% 下水道管渠被害率 2.73%

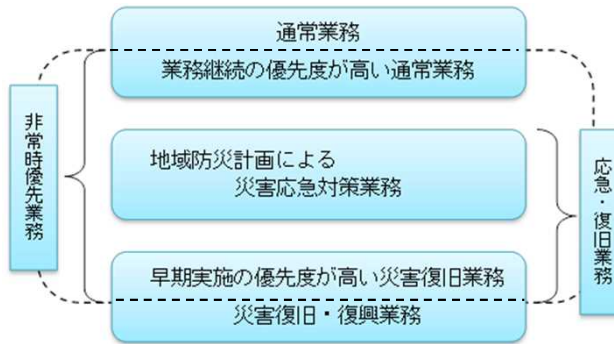


庁舎インフラの状況の想定
庁舎等：原則として使用可（建物内部は物品散乱） 上・下水道：断水の可能性あり 電気：停電の可能性あり（非常用発電機を使用） 電話：使用不可の可能性あり（防災行政無線を使用）

第3章 非常時優先業務

前提条件の制約を踏まえて、発災後1か月以内に優先して開始すべき「非常時優先業務」を選定し、業務開始目標時間を定める。

■非常時優先業務



■非常時優先業務の選定結果

各所属に照会したところ非常時優先業務は715項目となった。

■主な非常時優先業務（例）

業務開始目標時間	非常時優先業務
S1 ～3時間	・災害対策本部の設置 ・被害（人、場所）の把握 ・職員の動員及び配置 等
S2 ～1日	・道路、上下水道等の復旧 ・避難生活の開始に係る業務 ・応援の受入れ 等
S3 ～3日	・ごみ・瓦礫等の処理 ・避難生活の向上に係る業務 等
S4 ～2週間	・農林、商工業の復興・復旧業務 ・教育再開に係る業務 ・届出受理、証明書発行業務 等
S5 ～1か月	・復興・復旧業務 ・通常業務

■職員の参集想定

市職員の参集人数を時間経過ごとに想定

発災から	1時間	3時間	24時間	72時間
人数（人）	191	319	375	390
参集率（%）	48.3	80.7	94.9	98.0

※市職員全体で395人

■非常時優先業務実施のための執行環境

項目	環境
情報システム	システム・ネットワークは停電時も無停電電源装置を一時的に使用後、非常用発電機を通し電力供給が可能
通信	停電の場合、約3時間は蓄電池を使用し、電話交換機を介しての電話利用は可能。蓄電池が使用不可能な場合、宿直室の1台のみ使用可能。代替の連絡手段として防災行政無線、衛星携帯電話等を使用
飲料水・食料等	飲料水・食料の備蓄を進めるとともに、個人備蓄も推奨する。

第4章 今後の取り組み

■計画の見直し

今後、被害想定更新時、地域防災計画の修正、組織改編等を踏まえ、概ね年度ごとに見直し・更新を行う。

■訓練の実施

実施手順等を検証するため、必要に応じて訓練等を実施する。